

風通しの良い 市民にやさしい向日市に

その②



ひろばマン

上植野町堂ノ前イトーピア在住。大阪
市生まれ。60才。京都大学工学部卒。
GSユアサ（旧日本電池）勤務を経て
向日市議会議員1期、市民クラブ所属

杉谷 伸夫

無所属
市民派

市民の皆さんとともに 市政と議会を変えます！

私がこの4年間、最も重視して取り組んできたことは、「市民の知る権利」の実現です。

市民の皆さんから、向日市の現状に対して多くのご意見・指摘があります。向日市は市民の声に応えた仕事を行い、市民にわかりやすく説明する責任があります。主権者である市民は、それを求める権利があります。

しかし、現実はどうでしょう。「バスが無いので市役所へも行けない」「第3保育所跡地を子育て支援のために活用してほしい」「朝7時からでは資源ゴミを出せない」……。市民の

声がいつまでも反映されず、対策がなされず、納得できる説明がありません。「できない」と放置し、できない言い訳を探すのでなく、どうすればできるかを考えるべきです。

私は予算をはじめ、議会に提案された議案をすべてホームページに公開させました。現在、市民の税金を使った事業の結果と評価、課題をまとめた事業成果報告書を出すよう求めています。市民がチェックする為です。

市民のために働く市役所と議会にするため、更に頑張ります。（5月30日・杉谷伸夫）



杉谷ひろば

6月号
No. 52

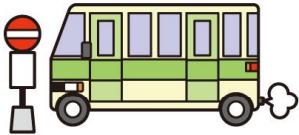
杉谷さんとともにまちを創る会
向日市寺戸町辰巳4-1-101
2015年 6月 6日発行 TEL 090-8384-5984

杉谷伸夫の

議 会 報 告

6月議会で取り上げるまちの課題

市内巡回バス 走らせる決断を！ 交通弱者の足の確保を最優先に



高齢の方が、市役所や公共施設、駅などに行くバスを実現することは、向日市の重要な仕事です。新市長はその検討に

着手する方針を示しました。一步前進ですが、問題は、これまで「検討」ばかりして全く進まなかったことです。市民の足を確保することは、市の責任であることを明確にして、具体策を早急に詰め、試行実施することを求めます。

私は、まずは高齢者、障がい者、妊婦などを対象として、**老人センター送迎バスを活用・拡充**することが、有力な方法だと考えます。

地域ぐるみの **子育て支援策**

待機児解消と子育て環境整備を

子育て支援は、社会全体で最も重視すべき施策です。以下の課題に取り組む必要があります。



① 保育所の待機時解消

現状は、4月時点では待機児はないものの、定員を百人超過。年度途中の入所は困難。待機児完全解消のため、第2保育所の建替・拡充を。

② 子どもの遊び場確保

児童公園、スポーツ広場、全て不足。子ども達が健康に外遊びできる広場等の整備が必要。

③ 子育てパパ・ママの集いの場

子育てするパパ・ママが孤立せず、集える場を第3保育所跡地を活用して整備すべきです。

豪雨浸水対策

新基準による防災マップを早く市民に

近年、局部的豪雨による浸水被害が多発しています。向日市も市内各所で浸水があり、福知山市のような大水害の可能性もあります。

今年国は、各市町村が想定する最大降雨量に対応して、浸水想定区域を防災マップに指定するよう法改正しました。桂川の氾濫以外の浸水予想の情報も市民に知らせることが求められました。長岡京市はすでに対応しています。向日市でも、早急な対応を求めます。



マイナンバー 今秋通知が間近

個人情報保護に万全の対策を



「マイナンバー」ってご存じですか？日本に住む人全員に、今年10月以降12ケタの個人番号が付けられ、税や社会保障などの手続きの際に必要となります。

でも余り知られていません。様々な個人情報に個人番号が付けらるので、個人情報漏洩や国民管理などの面で、様々な危惧があります。

秋からの実施を控え、市民の個人情報保護に万全を期すための対策と、大きな混乱を起こさないよう、しっかりした準備を求めます。

戦争法制

安倍政権の暴走を止める

市民を守る市長の責務

安倍首相はこの国会で、日本がアメリカと世界中で戦争ができる法律を制定しようとしています。歴代政権が、平和憲法のもとで「できない」としてきた他国のための武力行使を「できる」とし、戦闘地域へ自衛隊を派兵可能にするのです。憲法9条を無効にする暴挙です。

「国民の生命、人権を守るため」と言いながら、そのための法律は1つもありません。国の暴走に待ったをかけるのも、住民の命を守る市長の重要な役目です。



補正予算

現在議会で審議中 皆様のご意見を

4月末に新市長に代わったことから、6月議会には新市長の方針を反映した大幅な補正予算が提案されました。6月18日まで審議されますが、私がみた補正予算案の特徴と、現時点での私の意見をお伝えします。皆さんもご意見をお寄せ下さい。

※補正予算、その他議案は、向日市議会のホームページの「議案・議決結果」のところに、すべて掲載されています。

1 歴史を生かしたまちづくり事業

市長の公約に沿って、この関連予算が多数提案されています。

- ・西国街道整備、桜の径景観保全、常夜燈保全、歴史文化展示施設としての市民体育館の活用等
- ・歴史・観光資源の広報・発信事業など

★歴史を生かしたまちづくりについては、観光客を呼び込む視点だけでなく、将来ビジョンを検討し、市民の中で共有していく必要があると思います。向日市の歴史を知り、より魅力あるまちにしていくために、市民みんなで議論していくことが大切です。

2 公共施設の整備

- ・小中学校の照明設備の地震時等の落下防止対策
- ・市民体育館・文化資料館のエアコン整備、等。
- ・公共施設の総合管理計画作り（2年間で）。
- ・市役所の東向日駅前移転案を市長が案の1つとして述べました。重要課題であり、全市民ぐるみの検討が必要です。

3 市内公共交通、中学校給食の検討

前市長のもとで全く進まなかった市内巡回バスと、中学校給食の実施について、検討をスタートすることが示されました。しかし、その内容は未だ不明瞭です。特に市内巡回バスについては、これまで調査検討ばかりで長年先延ばしされてきたことに対し市民の不信は強いのです。早急に方式を提案し、まず試験運行すべきです。

私は、高齢者・障がい者・妊婦等を対象とした福祉バスとして、老人センター送迎バスを活用・拡充することを提案します。

4 子育て支援事業

・子どもの医療費助成を、中学校卒業まで自己負担額を「1医療機関、月200円」（但し通院については、中学生は月3000円）に拡充する内容です。

・小規模保育の開設支援

寺戸町七ノ坪に、定員19人の小規模保育（民間）が、この秋開設の計画です。しかしこの規模では、待機児解消は困難で、第2保育所建て替えに伴う抜本的な定員増が必要だと思います。

5 施策が足りない分野

一方、以下の分野には課題を残していると思います。

①教育・子育て支援

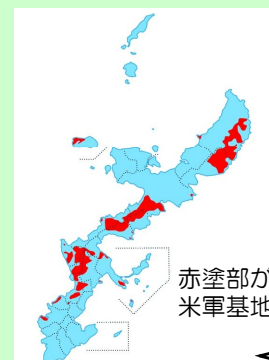
- ・学校の耐震化・エアコン設置を完了した後の、懸案のトイレや老朽施設の改修など、次のステップの計画は出ていません。
- ・第2保育所の建て替え、第3保育所の跡地を活用した子育て支援センター設置など、懸案事項は引き続き積み残しです。
- ・総じて、「教育・子育て支援」施策については、補正予算とはいえ、更なる強化を求めたい。

②市民参画・市民交流の推進

長年の懸案である、男女共同参画センターや、市民活動支援などの事業は、新たに盛り込まれていません。今後の抜本策を期待したいと思います。

「沖縄辺野古への米軍新基地建設の断念と、普天間基地の閉鎖・撤去を求める意見書」を議会に提案！

「沖縄に新たな新基地は造らせない」—この沖縄県民の総意に反して、米軍



基地建設を強行することは、民主主義ではありません。

そこで市民クラブで、国に対して基地建設の中止を求める意見書を議会に提案しました。6月18日、議会最終日本会議で採決されます。

沖縄本島の18%が米軍基地

向陽高卒のジャーナリスト 西谷文和さんを招き 戦火のシリア・イラク報告会



市民の関心が高く多くの方が参加(前中央が西谷さん)

5月6日、向日市民会館に117人の方が参加し、西谷文和さんの話に聞き入りました。

後藤健二さんの命は救えた!

「イスラム国」に殺された後藤健二さんは、安倍首相に救う意思があれば確実に助けられた。イスラム国と交戦しているヨルダンに現地対策本部を置いたことなど、後藤さんの救出より、「イスラム国」の残虐さを宣伝するために利用したのではない。

「イスラム国」の中枢には、イラクのフセイン政権の中枢にいた人間たちがいる。イラク戦争に

よる破壊と憎しみが、「イスラム国」を育てた。軍事力で「イスラム国」を崩壊させても、第2、第3の「イスラム国」が生まれ広がるだけだ。

戦争はウソやでっち上げ事件で始まる

中東地域の紛争の本質は、宗教の争いではない。大国の利権争いだ。今安倍政権は、中東地域に原油利権と原発輸出を狙って参入しようとしている。湾岸戦争もイラク戦争も、ウソやでっちあげで始まった。利権争いの戦争に国民を駆り立てるために権力者が流すウソに騙されてはならない。

ナチス台頭前夜と日本の現在

平和憲法を捨て去ろうとしている今年の憲法記念日に、阪大の法学部で近現代ドイツ政治学者の木戸衛一さんの話を聞いた。

ドイツでは、歴史上で当時一番民主的と評価されたワイマール憲法があったが、世界恐慌で経済が混乱したその中、ヒトラーが登場し第二次世界大戦に突入した。今日本では、自民党が選挙では軍国的立場は表面に出さず経済中心に景気回復を演出し、選挙で圧勝した後やりたいことを押し進めようとしている。

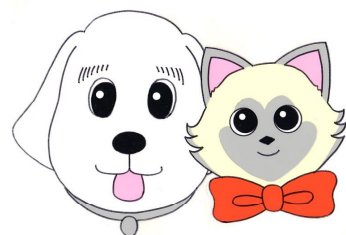
戦前日本は「大和民族は世界最優秀」といい、「八紘一宇」「天皇制軍事国家」でアジア・太平洋制覇を目指したが負けて、世界に誇れる平和・民主主義の憲法で出直したのだ。安倍首相はこの憲法を押し付けられたものとして捨て去り「愛国心」「民族意識」をおおっている。今の日本はナチス台頭前夜と似ていると言われるのがこの現実である。

私達は集団的自衛権に強く反対し、戦争法案と呼ばれる色々な法案に反対しなくてはならない。また来年の参議院選挙では、絶対に安倍首相を勝たせてはならないと声をおおきくしたい。今年の

ノーベル平和賞に、憲法9条を！というのももう一つの手段だと思う。(安野 洋子)

人間と動物の共生にむけて

この地球は人間だけのものではありません。いろんな命があって成り立っています。どれが一番ということではなく、すべてがつながっている



と考えます。けれど問題もあり、例えば猫に関する苦情もそのひとつ。餌だけ与えて後は知らん顔の困った人もいます。ですが、元はといえば猫に罪は無く、野良猫もまた無責任な人の被害者なのです。

猫が好き嫌いの問題ではなく、命を尊重することを主眼に対策を考えなければなりません。他の命に慈しみの気持ちを持つことは、思いやりに満ちた暖かい社会を作るために大切なことです。動物に優しいまちは、人にも優しい。誰もが住みたくなる、そんなまちを心から願っています。

(田中 ゆみ)